

令和 6 年 8 月 1 日

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
大原簿記専門学校神戸校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会を開催し、学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校の令和 5 年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施しております。

令和 5 年度自己点検・評価報告書を基準に、特に提言頂きたい重点項目を次頁以降に記載されている点に絞り込み、学校関係者 評価委員へ事前に伝達した上で開催しました。

1.実施日

令和 6 年 8 月 1 日 (火)

2.実施会場

大原簿記専門学校神戸校 061 教室

3.出席者

(1)学校関係者評価委員

釜田 亮佑 様(釜田税理士事務所 所長 税理士)

上野 雄一 様(青山商事株式会社 法人部 マネジャー)

原口 哲也 様(洋服の青山 三宮店 上席店長)

久保田 知志 様 (医療法人沖繩徳洲会 神戸徳洲会病院 医事課 課長補佐)

原田 修明 様 (自衛隊兵庫地方協力本部神戸出張所 所長)

内橋 照夫 様(全国国立病院事務部長協議会 近畿支部 副会長)

黒木 輝幸 様(株式会社サップス)

<欠席>

前原 啓二 様(前原会計事務所インターナショナル・アウトソーシング 有限会社 所長 公認会計士)

※欠席委員より委員長一任の承諾を事前に頂戴している

(2)事務局

佐藤 顕 (大原簿記専門学校神戸校 学校長)

恩知 孝康 (大原簿記専門学校神戸校 課長)

中谷 匡史 (大原簿記専門学校神戸校 課長)

長尾 章吾 (大原簿記専門学校神戸校 課長)

石川 敦士 (大原簿記専門学校神戸校 課長補佐)

4.自己点検・評価報告書より報告と検討

(1)令和 5 年度の自己点検・評価報告概要

自己点検・評価報告書を配布の上、概要報告を行った。
特に問題点の指摘はなかった。

<自己点検評価報告書 公開 URL>

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

(2)学校関係者評価委員からの 提言 項目

① 3-9-3キャリア教育を実施しているか

項目	評価
3-9-3キャリア教育を実施しているか	70%

(イ) 総括

今現在、学生一人ひとりの社会的、職業的自立にむけ、学ぶこと、働くことの大切さなどガイダンスを適宜実施している。また、具体的には就職授業用教材に、厚生労働省ジョブカード準拠様式を導入し、毎年見直しを行いながら、キャリア教育をより具体的に進めている。

(ロ) 学校関係者の提言

コミュニケーション能力や PC 操作の技術を身に付ける指導を行うことが重要である。なお、昨今の社会情勢も鑑み、ハラスメント、コンプライアンスなど、組織社会人としての土台をしっかりと身に付ける必要もある。また、学校の特徴をより出せる部分でもあるので、専門知識を活かすための指導をしていくことが有用ではないかと提言があった。

②3-12-2教員の資質向上への取り組みを行っているか

項目	評価
3-12-2教員の資質向上への取り組みを行っているか	70%

(イ) 総括

定期的に学生アンケートを実施しており、結果を上司より担当教員へフィードバックしている。また、企業等と連携した教員研修を実施し、学科ごとに目指す試験の制度や業界ニーズにあわせた教育を実現する教員の資質向上に努めている。また、現在下記の研修等受講しており、今後も教員の資質向上のための企業研修、外部研修参加をより充実させていく。

- ・ 中級ビジネス実務研修（保護者、クレーム対応）
連携企業：アクトプランニング
- ・ 障害のある学生・生徒への支援にかかる理解・啓発セミナー
連携企業：日本学生支援機構
- ・ 学校における被害者（いじめ・性被害）支援の現状と課題
連携企業：内閣府
- ・ 情報モラル教育をどう進めるか
（生成AI や闇バイトなどの新しい情報技術やリスクとの向きあい方）
連携企業：兵庫県

(ロ) 学校関係者の提言

教員の資質向上に向けた研修として、ハラスメント、ストレスマネジメント、アングーマネジメントなど時代に対応できるような研修が必要である。また、組織力を高める項目としてチームビルディングや自衛隊への体験入隊などの研修、生徒とより向き合うために、コーチング、傾聴トレーニングなどの研修、保護者対応などを目的としたカスタマーハラスメントの研修など時代のニーズに合わせた研修を実施することが有用ではないかと提言があった。

5.学校関係者委員会総括

大原簿記専門学校神戸校の今回の自己点検・評価報告書の内容については、概ね適正に運営されているとの評価をしている。教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、その理念を達成するための事業計画の策定、研修制度の確立を通じて有為な人材育成が行われている。

教育業界では生徒やその家族との接点が多くなることから、その時代にあった取り組みや知識を付けることが求められており、教員の資質向上が重要となる。大原学園では、高い就職率・資格合格率・公務員合格率を引き続き維持していただくともに、生徒の専門知識を始めとして、様々な教育の機会を提供することで、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいただきたい。